



日本共産党東京都議会議員 (厚生委員)

藤田りょうこの都政報告

連絡先 藤田りょうこ事務所 大田区西蒲田6-34-7
☎ 3736-1494 fax 3735-4522

Twitter @ryoukofujitajcp
Facebook@ryouko.fujita.jp

発行 日本共産党東京都議団 新宿区西新宿2-8-1 ☎ 5320-7270

児童虐待死の再発防止へ

都議会議員 藤田りょうこ

増加する児童虐待について東京都の遅れた対応に対し、日本共産党都議団は2010年に緊急提言をおこないました。

しかし今年3月、目黒区で小学校入学直前のゆあちゃんが虐待によって亡くなるという、大変痛ましい事件が起きました。

6月の第二回定例会で党都議団の質問により都の**児童福祉司**は定数より90人少ないことがわかり「専門職の増員と育成を強化する」と都が答弁したことは重要です。

児童虐待防止のために**児童相談所**を特別区(23区)でも設置することが可能となり、大田区では5年後の設置を目指すとしています。

現在大田区内には4か所の**子ども家庭支援センター**が設置されており、育児の悩み相談や親子の交流の場を設けています。気軽に相談できる子ども家庭支援セ



児童相談所関係者からお話を伺う吉良参院議員と党都議団左から二人目が藤田都議(8月3日/都庁)

ンターと、虐待相談や療育支援など専門的な任務をもつ児童相談所の連携がとても大切です。

また、一時保護が必要となった場合でも、子どもの権利がしっかり保障される施設や対応が欠かせません。しかし、児童福祉司は一足飛に増員が図られない専門職でもあります。

研修への協力や制度変更、財政支援などが率先して自治体の取り組みを支援するよう要望してまいります。

「すべての認可外保育園、への巡回指導を実現！」



東京都へ申し入れの様子 (16年9月23日/都庁)

翌2017年には、巡回指導員が20名に増員。認証保育園を除く「都内すべての認可外保育園」に対して年1回の巡回指導が行われるようになります。

2016年3月、大田区内の認可外保育園で、生後6ヶ月の赤ちゃんが保育中になくなる事故がありました。

同年9月に私は「認可外保育園への巡回指導の強化」を東京都に申し入れ、かち佳代子都議(当時)が一般質問でとりあげました。

「低所得者へのクーラー設置と電気代の補助を」と緊急提案



Aさん (撮影は藤田都議)

都営住宅に住む要介護4のAさん(80代)は生活保護を受給し一人で生活しています。30年以上前に購入したクーラーが効かず、電気屋さんで修理したところ合計1万6600円。急な出費で生活費が足りなくなり、役所に相談しました。

しかし「修理費用の補助は前例が無い」と何も対応してもらえず、「緊急提案を行いました。党都議団と党区議団は8月、各自治体に「低所得者へのクーラー設置と電気代の補助を!」と、緊急提案を行いました。

横田基地へのオスプレイ配備撤回を

米軍横田基地に米軍特殊作戦機CV22オスプレイが10月1日に正式配備される問題で、党都議団は8月28日、小池知事に対しCV22配備撤回を国及び米軍に迫ることを求める申し入れをしました。

横田基地周辺では4月から8月にかけてオスプレイが300回を超えて飛来し周辺住民から騒音や落下物の危険性などについて苦情が多く寄せられています。都と周辺自治体は6月に

「事前の情報提供」や「離発着はできるだけ増加させないこと」等の対応を求めましたが、米軍も国もまたもな回答はしていません。全国知事会は7月に、日米地位協定の抜本的見直しを含む「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で議決しました。

世界に例のない、米軍基地を抱える首都である東京都こそ、その実現の先頭に立つことが求められています。



藤田りょうこ都議の 『都政学習会 in 大田区』に参加して



「都政学習会 in 大田区」の様子。右は報告する藤田都議（7月28日）

7月28日、「都政学習会 in 大田区」（主催 都議会の役割を考えるおた実行委員会）が開かれました。
テーマは「候補者時代の公約はどうなりましたか？」という内容のもの。都民ファーストの会2名、自民党2名、そして共産党から私の参加でした。
私は「社会保障」に関する公約について振り返りました。

党都議団は、この1年間で6つの条例提案を行い、そのうち3件は私の所属する厚生委員会での提案です。

他会派へも賛同を求めましたが、都民ファースト・自民・公明の反対ですべて否決されたことを報告しました。

自民党議員は、大型開発が着実に進んでいること、引き続き世界で一番の都市・東京の実現に向けて取り組むと発言しました。

最大会派の都民ファーストの会は「古い都議会を新しく」として、議員提出議案を増やすことや受動喫煙防止に対する条例提案を行い可決したこと。また豊洲市場について「盛り土にかわる安全対策工事の実施を議決した」などと報告していました。

東京都の実態は与党が都民ファーストの会に代わっても、石原都政時代からの大型開発偏重路線は変わっていません。

都政学習会に参加し、他党の発言や私の活動も振り返り、暮らし・福祉優先の都政実現に向けて全力で頑張る決意を新たにしました。

日本の宝、大田区の町工場を存続させさらに発展を



南六郷で工場経営の日向さん（左）にお話を聞く党都議団（8月8日）

党都議団が求め続けてきた「中小企業振興条例」について、小池知事が「条例の制定に向けた検討を進め中小企業のいっそうの発展に結びつけていく」と6月の第二回例会で

初めて答弁しました。

8月8日、私は尾崎都議、原田都議と区内町工場を訪問し「中小企業振興条例」がより良い条例となるよう提案するために、お話を伺いました。

お聞きすると、工場の従業員は3人未満が半数以上を占め受注を断ると仕事が来なくなるといふことから、体調が悪くても休まず、無理をして働いているという実態がありました。

また、大田区の町工場は年々減り最盛期の三分の一

にまで減少。今もまだ減り続けています。町工場の優れた技術を継承し働くみなさんが健康で働き続けるためには東京都として、支援の予算を抜本的に増やす必要があります。



東六郷で工場を営む池田さん（中央右）と党都議団（8月8日）

「荏原病院の入院ベッドは区民のために活用を！」



荏原病院から状況を聞く藤田都議と原田都議（8月29日/荏原病院にて）

006年に都立から公社化されて以降、1つの病棟が閉鎖されたままになっています。

区民のみなさんからは「在宅医療の支援をしてほしい」「区内で出産できる施設を増やしてほしい」「小児科を充実させてほしい」等の要望が寄せられています。

引き続き入院ベッドの有効活用ができるよう、東京都や公社に改善を求めてまいります。

都営住宅の建て替えは住民要望を尊重して！

建て替えを予定している東糞谷6丁目アパートの住民に対して、8月9日に住宅供給公社から説明があ



東糞谷都営アパートの皆さんと

都政に関するご意見ご要望をお寄せください。